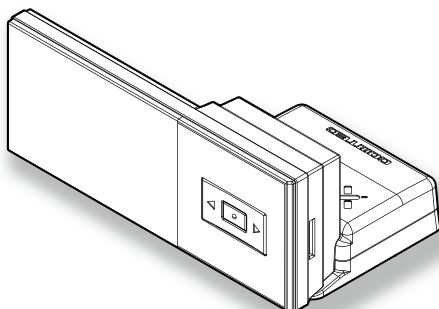


GPS 搭載透過液晶レーダー探知機 ZERO 1C

取扱説明書／保証書



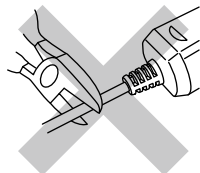
この度はベストワンシリーズをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付けおよび操作手順が説明されております。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。なお読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

本書の見かた

⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
 アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
<u>長押し</u>	スイッチを 2 秒程度、長めに押すことを示しています。
	GPS を受信している場合に対応する内容を説明しています。

⚠ 警告

本製品の電源電圧は 5V です。必ず付属の USB シガープラグコードを、車両シガーソケットに差込んで使用してください。切断して直接 DC12V 電源線に接続すると、故障や火災の原因となります。



本製品は安全運転と法規走行を促進するためのものです。
スピードの出し過ぎには注意しましょう。

COMTEC

はじめに

取付け

基本操作

便利な機能

設定

その他

目次

目次	2	設定項目	28
ご使用上の注意	3	アラーム音を変更する	28
知っておきたいこと	5	LED 設定	28
各部の名称	7	GPS 設定	30
レーダー本体	7	無線設定	45
梱包内容	7	付録	55
取付け方法	9	取締りの種類と方法	55
レーダー本体を取付ける	9	初期状態に戻す (オールリセット)	58
基本操作	14	ディスプレイモード (販売店向け機能)	59
電源を ON にする	14	故障かな?と思ったら	60
電源を OFF にする	14	製品仕様	61
ディスプレイ表示	15	さくいん	62
音量を調整する	16	保証規定	63
便利な機能	17	ZERO 1C 保証書	裏面
ユーザーポイントを登録する	17		
警報をキャンセルする	18		
GPS データを更新する	23		
レーダー本体をアップデートする	24		
走行エリアを選ぶ	26		
ASC 機能	27		
LSC 機能	27		

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いをすると生じる、または想定される内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

⚠ 警告 警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。

⚠ 注意 注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

⚠ 警告

- 本製品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。同乗者の方が操作を行ってください。
- 本製品は電子部品を使用した精密機器のため、衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車の故障の原因となります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。

⚠ 注意

- 本製品にはお買い上げの日から 1 年間の製品保証がついています。(ただし、両面テープ等の消耗品は保証の対象となりません)
- 本製品の近くに他の GPS 機能を持つ製品を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
- GPS 衛星の電波を受信できない下記のような場所では、本製品の GPS 機能が働かない為、GPS による警報、表示、メモリー機能が正常に動きません。(トンネル・地下道・建物の中・ビル等に囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・木々の多い森の中等)
- 車載テレビ等で UHF56 チャンネルを受信(設定)していると、GPS 衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載テレビ等のチューナー部から離し、GPS 受信に影響のない衛星の受信箇所へ本製品を取付けてください。
- 本製品の受信機能は、製品仕様欄に記載されている周波数帯のみ有効です。

ご使用上の注意

⚠ 注意

- 電源を分岐して使用している場合や車のバッテリーが劣化している場合等、電流が足りず電源が不安定になり、本製品の電源が遮断されることがあります。
- 本製品の GPS 警報は、予め登録されたオービスや取締ポイント等の GPS データ（位置情報）とお客様が任意で登録した位置のみ有効です。
- 本製品の制限速度データは、調査した時期以降に制限速度が変更された等の理由により、実際の制限速度と異なる場合があります。運転する際は必ず、実際の交通規制に従い走行してください。
- G システムのみでは、自転車位置を完全に検出することはできません。走行状況によっては警報できない場合があります。
- 一部ナビゲーションシステム、車載用 BS チューナー、CS チューナー、地上デジタルチューナーや衛星放送受信機等の車載電子機器から本製品の受信できる周波数帯と同じ電波が出ている場合、本製品が警報を行うことがあります。
- 取締り機と同一周波数のマイクロ波を使用した機器（下記）周辺で、本製品がレーダー警報を行うことがあります。誤動作ではありません。予めご了承ください。（自動ドア・防犯センサー・車両通過計測器・気象用レーダーの一部・航空用レーダーの一部）
- 一部断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入り等）、一部熱吸収ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS・レーダー波等の電波が受信できない場合があります。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては、販売店にお問い合わせください。
- 環境保護と資源の有効利用をはかるため、寿命となった本製品の回収を弊社にて行なっています。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行なっておりません。
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。ご了承ください。
- 本製品は DC12V 車専用です。（DC24V 車へのお取付けはできません）
- キーを OFF にした時、シガープラグの電源が 0V にならない車両（外車など）の車両バッテリーを保護するため、エンジン停止時は必ず USB シガープラグコードを抜いてください。

※ 本製品を取付けての違法行為（スピード違反等）に関しては、製品動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねます。

知っておきたいこと

● GPS とは

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● GPS レシーバーの警報システム

衛星からの電波を受信して現在位置・移動方向・移動速度を算出し、あらかじめ登録してある各データ（座標データ等）とを比較演算し、接近すると警報を行います。

● 衛星受信までの時間について

本製品は「最速 GPS 測位」機能により、起動後すばやく GPS 衛星を測位する事が出来ます。ただし以下のような場合、「最速 GPS 測位」は機能しません。

- ・ 前回電源 OFF 後 72 時間以上経過した場合。
- ・ 前回電源 OFF 後、直線距離で 300km 以上離れた場所で電源を ON にした場合。
- ・ 前回電源 OFF した時と、次に電源 ON した時の GPS 衛星の状態が異なる場合。

● 準天頂衛星「みちびき」(QZSS)

本製品は、準天頂衛星「みちびき」に対応しています。「みちびき」からの測位信号を受信することにより、通常の GPS 測位より山間部や都心部の高層ビル街などでも、さらに正確に測位できるようになりました。

● 衛星データ

本製品は、一旦 GPS 衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネル等で衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を速めるためです。また、まれに GPS 受信が長時間に渡ってできない場合があります。

● GPS 測定誤差について

本製品の測位計測機能は衛星の受信状態等により、約 50m 程度の測定誤差が出る場合があります。

● GPS 衛星受信と車載電子機器

車載テレビ等で UHF56 チャンネルを受信（設定）している時やナビゲーション本体や、地デジチューナー及び衛星放送受信機等の車載電子機器からの漏れ電波により、GPS 衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載電子機器から離し GPS 衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。

ご使用上の注意

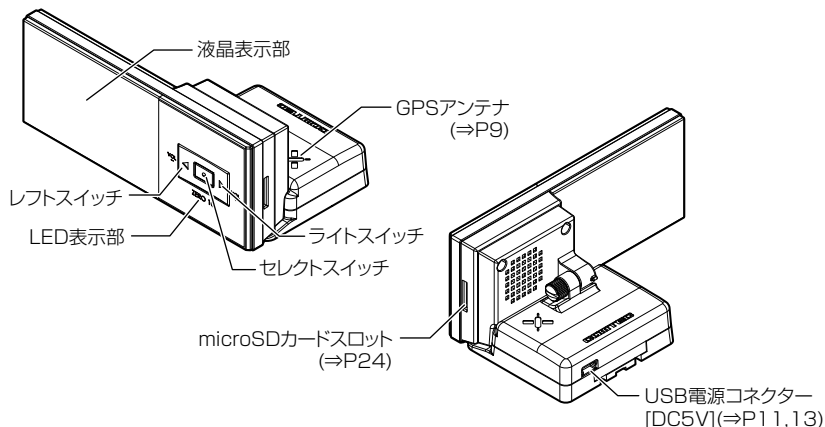
● ディスプレイについて

約-20℃以下になると画像が遅れて表示されたり、表示された画像が消えるのに時間がかかったりします。これは液晶ディスプレイの特性であって故障ではありません。周囲の温度がディスプレイの安定動作する温度になると元の状態に戻ります。

※ 上記の状態でディスプレイに表示されていない場合でも、その他の機能は正常に作動します。

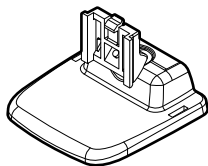
各部の名称

レーダー本体

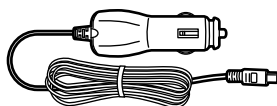


梱包内容

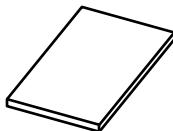
ステー (1 個)



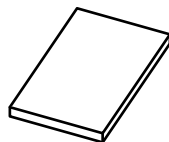
USB シガープラグコード (1 本)
(約 3m/5V コンバーター内蔵)



両面テープ (1 枚)
(ステー固定用)



粘着シート (1 枚)
(ステー固定用)



※ 取扱説明書のイラストと実際の製品では一部形状が異なる場合があります。

各部の名称

本体スイッチ操作一覧

項目	スイッチ操作			備考
	レフトスイッチ	セレクトスイッチ	ライトスイッチ	
音量アップ	—	—	短押し	—
ダウン	短押し	—	—	—
テスト機能	短押し	短押し	—	待機中に同時押し
ミュート機能	—	短押し	—	警報中のみ
走行エリアの設定	—	長押し	—	待機中
LED 色変更	短押し	—	短押し	待機中
バックライトの点灯	—	短押し	—	待機中
ユーザーポイントの登録	長押し	—	—	待機中
解除				ユーザーポイント警報中に操作
誤警報地点の登録	—	—	長押し	レーダー警報中に操作
解除				キャンセルミュート中に操作
オービスポイントのキャンセル登録	—	—	長押し	オービス警報中に操作
キャンセル解除				キャンセルミュート中に操作
無線警報のキャンセル登録	—	—	長押し	無線警報中に操作 ※解除はオールリセットを行う
ディスプレイモードの設定 / 解除	—	●	—	押しながら電源を入れる
オールリセット	●	—	●	押しながら電源を入れる
GPS データ更新モードに入る	—	●	●	押しながら電源を入れる
設定操作				
GPS 設定モードに入る	長押し	長押し	—	待機中に同時長押し
GPS 設定の内容を変更する	短押し	短押し	—	GPS 設定モード中
無線設定モードに入る	—	長押し	長押し	待機中に同時長押し
無線設定の内容を変更する	—	短押し	短押し	無線設定モード中
アラーム設定モードに入る	長押し	—	長押し	待機中に同時長押し
アラーム設定の内容を変更する	短押し	—	短押し	アラーム設定モード中
決定 (待機画面に戻る)	短押し	—	—	各設定モード中

※ スイッチ操作を行なった際、約 20 秒間液晶表示部のバックライトが点灯します。
バックライトのみ点灯させる場合は、【セレクトスイッチ】を短押ししてください。

取付け方法

レーダー本体を取付ける

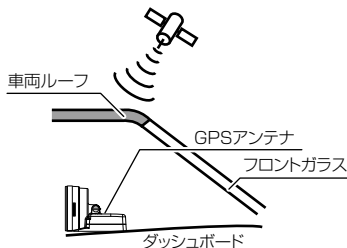
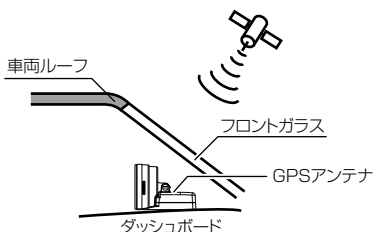
- ・運転や視界の妨げにならず、車両の機能（エアバッグ等）に影響のない場所に取付けてください。
- ・GPS アンテナ上方向、前方向に遮蔽物があると GPS 衛星からの電波が受信できなくなります。取付け位置には十分注意してください。
- ・道路に対して平行、レーダー受信部を進行方向に向けて取付けてください。



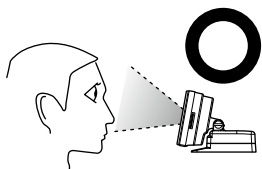
障害物がないので電波の受信ができる



車両ルーフによって電波が受信できない

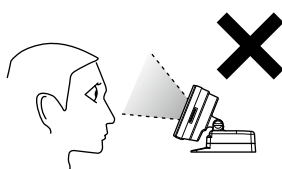


- ・レーダー本体の取付ける場所、角度によって液晶の特性上、ディスプレイが見えにくくなる場合があります。ディスプレイが視界の正面になると一番見やすくなるように設計されていますので、ディスプレイが視界の正面になるようにレーダーを取付けてください。



●見やすい取付け

ディスプレイの角度が視界の正面の取付け

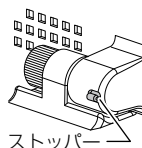


●見にくい取付け

ディスプレイの角度が視界の正面よりずれている取付け

⚠ 注意

本体の角度調整を行う際は調整ネジを緩めてから行い、その後調整ネジを締め直してください。
また角度調整部にはストッパーが付いています。無理に表示部の角度調整を行うと、ケーブルの断線等故障の原因となります。ご注意ください。

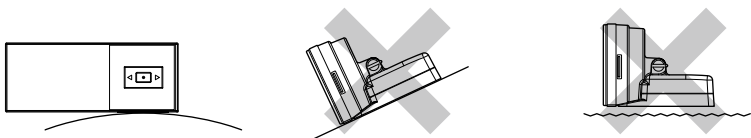


取付け方法

⚠ 粘着シート使用上の注意

- ・粘着シートは汚れたり、ほこりがついたりして粘着力が弱まった場合、中性洗剤を使い洗うと粘着力が戻り、再度使用することができます。
- ・粘着シートは以下のような場所に取付けると貼付きにくく、不安定になることがあります。そのような場合は両面テープを使用して取付けてください。

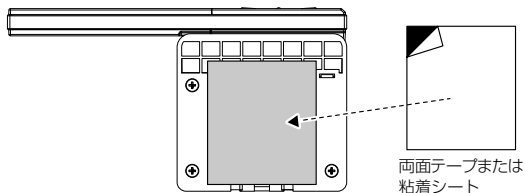
①取付け面が平坦な場所ではない。 ②取付け面が傾斜になっている。 ③ダッシュボード表面の凸凹が荒い。



- ・ダッシュボードが変色したり、跡が残ったりすることがあります。あらかじめご了承ください。

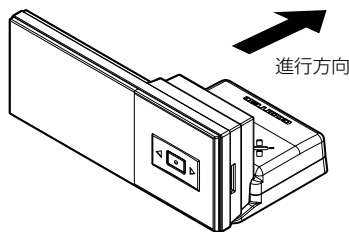
ダッシュボードに直接取付ける

- 1) レーダー本体裏面に両面テープまたは粘着シートを貼付けます

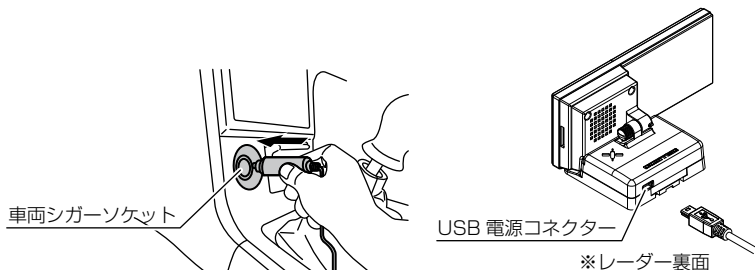


- 2) ぬれたタオルなどでダッシュボード上を拭き、きれいにしてから固定します。

※レーダー本体後部が車両の進行方向に向くような場所に設置してください。

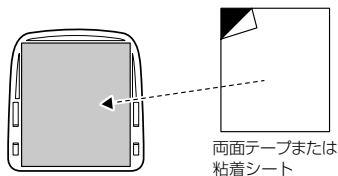


- 3) 車両シガーソケットに付属の USB シガープラグコードを差込み、次に本製品に USB シガープラグコードを接続します

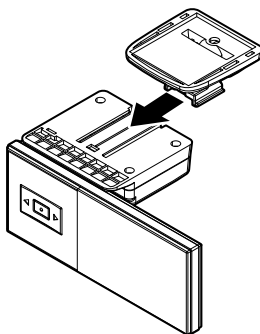


ダッシュボードにステアを使い取付ける

- 1) ステアに両面テープまたは粘着シートを貼付けます



- 2) レーダー本体裏面のステア取付け穴にステアを差込み、「カチッ」と音がするまでスライドします

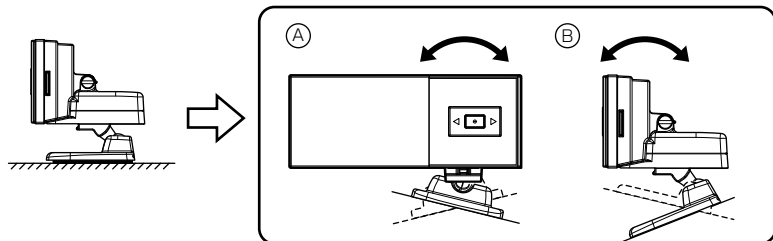


取付け方法

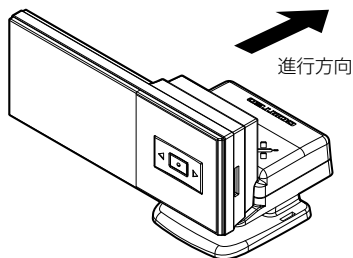
- 3) むれたタオルなどでダッシュボード上を拭き、きれいにしてから固定します。レーダー本体が地面と垂直になるよう④、⑤のように角度を調整します

⚠ 警告

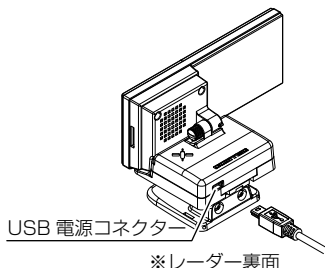
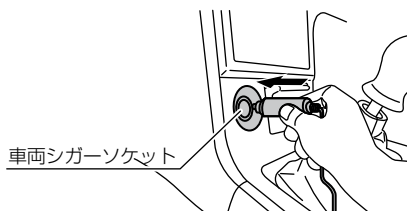
エアバッグの飛び出し場所等、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。誤った場所への取付けは、事故の原因となります。



- 4) レーダー本体後部が、車両の進行方向に向くように調整します



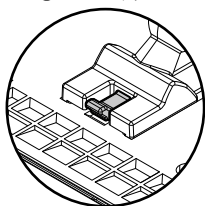
- 5) 車両シガーソケットに付属の USB シガープラグコードを差込み、次に本製品に USB シガープラグコードを接続します



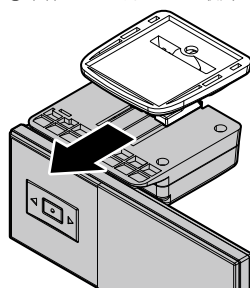
レーダー本体を取外す

- 1) ステア裏側のロックを外しながら、レーダー本体をスライドさせて取外します

①ロックを外し、

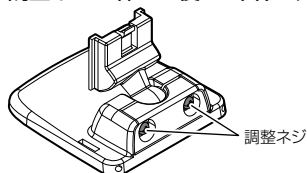


②本体をスライドさせて取外す



⚠ 注意

長い間使用するとステアのジョイントがゆるみ、本体が傾くことがあります。その場合には、本体からステアを外し、調整ネジをプラスドライバーで左右均等に少しずつ締めてください。調整ネジを締めた後は、本体を元の位置に戻してください。



基本操作

電源を ON にする

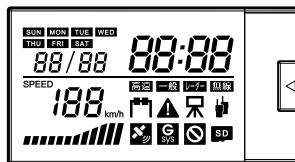
1. USB シガープラグコードを接続した状態で、キーを ON にする。



👉 アドバイス

一部外車など、エンジンを停止してもシガーソケットに 12V 電圧がある車は、車両バッテリーを保護するため、エンジン停止時は必ず USB シガープラグコードを抜いてください。

2. 液晶表示が全点灯することを確認する



3. 待機画面の GPS 衛星のアイコン表示が点灯している事を確認する。
数秒～数分かかる場合があります

GPS 衛星の 受信状態	アイコン表示	受信アナウンス
受信時		「ピンポン♪ 衛星を受信しました。」
未受信時	消灯	「チャララン♪ 衛星を受信できません。」

👉 アドバイス

GPS の補完機能

本製品は GPS の補完機能として『G + ジャイロシステム』を搭載しています。走行中に GPS 衛星の受信ができなくなった場合、G + ジャイロシステムによって自車位置の検出を行います。G + ジャイロシステム作動時は GPS アイコン表示部に、右記アイコンが表示されます。

※ G + ジャイロシステムのみでは、自車位置を完全に検出することはできません。

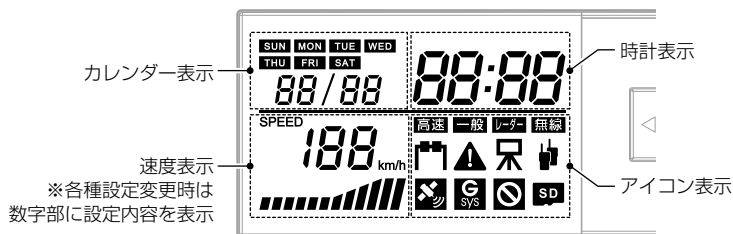
G+ジャイロ
システム作動時



電源を OFF にする

キーを OFF にすることで電源は OFF になります。

ディスプレイ表示



アイコンについて

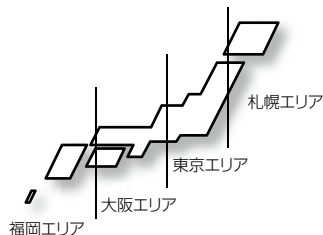
アイコン	表示内容
高速 一般	待機時：走行エリアの設定を表示 警報時：オービス / GPS ポイントの設置路線を表示
	オービス警報時に表示
	オービス以外の GPS 警報時に表示
レーダー	レーダー警報時に表示
無線	無線警報時に表示
	GPS 受信時に表示 ※未受信時は消灯
G sys	G システムの作動状態を表示 ※走行中に GPS 未受信の場合のみ表示
	駐車監視エリアを表示
SD	microSD カード挿入時に表示

基本操作

オートディマー機能

本製品は時刻によって、LED の明るさを自動的に切替えるオートディマー機能を採用しています。

- 各エリアを中心とした時季（2～4月/5～7月/8～10月/11～1月）の日の出と日の入り時刻の統計を基に、輝度を自動的に切替えます。



音量を調整する

- ディスプレイを確認しながら、7段階（無音含む）の音量調整ができます。
- 音量は速度表示部に設定が表示され、音量が1上がるごとに2本ずつ増えていきます。
- お買い上げ時は、音量が【4】に設定されています。

①待機画面中に	②【ライトスイッチ】または【レフトスイッチ】を押す	【ライトスイッチ】で音量が大きくなります。 速度表示部に設定内容を表示 【レフトスイッチ】で音量が小さくなります。 ※音量を最小にすると消音になります。
----------------	----------------------------------	---

テスト機能を使用する

- 本製品がどのような音量で警報するかを確認できる機能です。
- 待機画面中に【レフトスイッチ】と【セレクトスイッチ】の同時押しをすると、レーダー本体から警報時のテスト音が鳴ります。

オートボリュームダウン機能

本製品は、オービス最接近警報（200m以下）してから約10秒後、また、レーダー受信警報してから約15秒後に、警報音のボリュームを自動的に小さくします。一度警報が解除されると、元の警報音のボリュームに戻ります。

便利な機能

ユーザーポイントを登録する



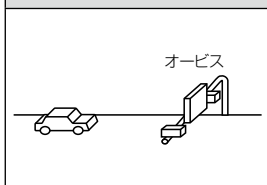
未登録、または新たに設置されたオービスポイントを任意に 100 件まで登録することができます。

⚠ 注意

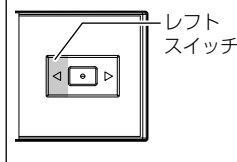
運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行なってください。

登録方法

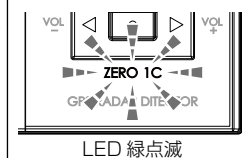
- ①登録したい地点を走行し、GPS 警報をしていないときに



- ②【レフトスイッチ】を長押しする



- ③「チャラン♪ ユーザーポイント登録しました」とアナウンスされれば登録完了です。



走行エリアを「シティーモード」または「オールモード」選択時に、ユーザーポイントを登録すると「一般道路上」に登録され、「ハイウェイモード」選択時に登録すると「高速道路上」に登録されます。

👉 アドバイス

ユーザーポイント解除方法

登録したポイントの警報中に【レフトスイッチ】を長押しすると「チャラン♪ ユーザーポイント解除しました」とアナウンスされ LED が青点滅し、登録が解除されます。

ユーザーポイントの登録ができない場合

- ・GPS 衛星が受信できないと「ピピピピピピ♪ 衛星をサーチ中です」とアナウンスが流れます。
- ・警報中は登録することができません。
- ・一度登録した場所（登録場所から半径約 200m）に再度、登録しようとした場合、「チャラン♪ 登録できません」とアナウンスされます。
- ・ユーザーポイントを 100 件を超えて登録しようとした場合、「チャラン♪ メモリーフルです」とアナウンスされます。

便利な機能

警報をキャンセルする

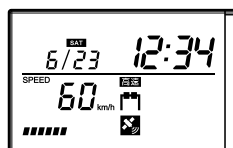
警報を一時的にキャンセルしたり、不要な警報をキャンセルポイントとして登録することで誤警報を低減し、警報の信頼度を高めることができます。

⚠ 注意

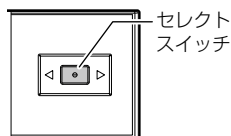
運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行ってください。

一時的にキャンセルする（ミュート）

① 各種警報中に



② 【ミュートスイッチ】を短押しする



③ 「ピッ」とブザー音が鳴り、LED が青点滅します。



👉 アドバイス

- ・ LED が青点滅している間は、警報しません。
- ・ ミュート中に再度【セレクトスイッチ】を押す、または待機画面に戻るとミュート状態は解除されます。
- ・ 誤警報の登録地点（⇒ P19）、対向車線オービスのレーダー波をキャンセルした時（⇒ P20）、オービスポイントのキャンセル地点（⇒ P21）、ASC 機能（⇒ P27）および LSC 機能（⇒ P27）作動中にも LED が青点滅します。

誤警報地点を登録する（レーダーキャンセルポイント）

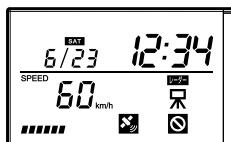


- ・自動ドア等、レーダー波を受信してしまう場所をキャンセルポイントとして登録することで、半径約 200m 内のレーダー警報を消音します。
- ・最大登録件数は 50 件です。

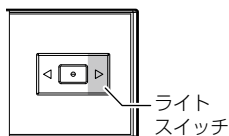
⚠ 注意

運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行ってください。

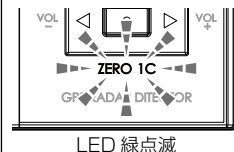
①レーダー警報中に



②【ライトスイッチ】を長押しする



③「チャラン♪ レーダーキャンセルポイント登録しました」とアナウンスされれば登録完了です。



👉 アドバイス

レーダーキャンセルポイント解除方法

レーダーキャンセル動作中、【ライトスイッチ】を長押しすると「チャラン♪ レーダーキャンセルポイント解除しました」とアナウンスされ LED が青点滅し、登録が解除されます。

登録ができない場合

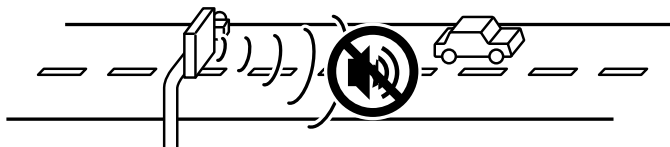
- ・レーダー（ステルス式を含む）受信中でも GPS 衛星が受信できないと「ピピピピピピ」衛星をサーチ中です」とアナウンスが流れます。
- ・一度登録した場所（登録場所から半径約 200m）に再度、登録しようとした場合、「チャラン♪ 登録できません」とアナウンスされます。
- ・レーダーキャンセルポイントを 50 件を超えて登録しようとした場合、「チャラン♪ メモリーフルです」とアナウンスされます。

便利な機能

対向車線オービスのレーダー波を自動でキャンセルする



- ・対向車線のレーダー式オービス、Hシステムのレーダー波を受信した場合、自動で対向車線のオービスと認識し警報をミュートします。



⚠ 注意

キャンセル中はすべてのレーダー波をミュートします。キャンセル中の走行には十分お気を付けください。



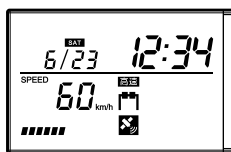
オービスポイントをキャンセル登録する

- ・お買い上げ時から登録してあるオービスポイントやNシステムでGPSデータに登録されているオービスポイントをキャンセルポイントとして登録することで、該当ポイントの警報を1地点単位で消音します。
- ・最大登録件数は30件です。
- ・同時にレーダー波もキャンセルされます。

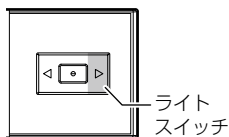
⚠ 注意

運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行ってください。

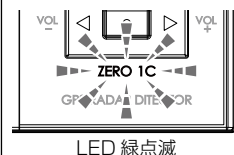
① オービス警報中に



② 【ライトスイッチ】を長押しする



③ 「チャラーン」警報キャンセルポイント登録しました」とアナウンスされれば登録完了です。



👉 アドバイス

警報キャンセルポイント解除方法

警報キャンセル動作中、【ライトスイッチ】を**長押し**すると「チャラーン」警報キャンセルポイント解除しました」とアナウンスされLEDが青点滅し、登録が解除されます。

登録ができない場合

警報キャンセルポイントを30件を超えて登録しようとした場合、「チャラーンメモリーフルです」とアナウンスされます。

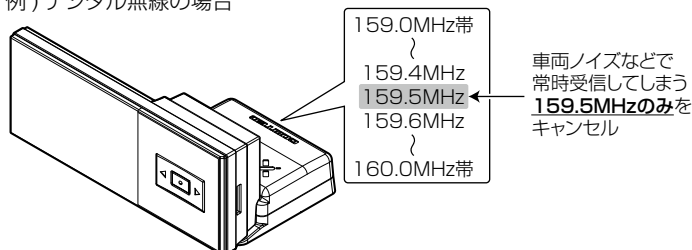
便利な機能

無線警報をキャンセル登録する（パスメモリ）

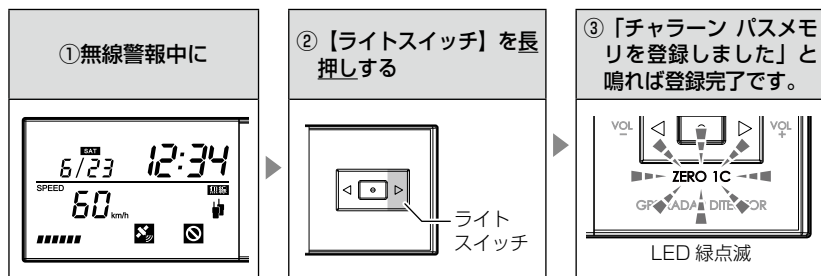
車両ノイズや一部地域など一定周波数のみを受信したままの状態が続く場合に、対象の周波数を登録し、受信対象から外すことができます。

※ カーロケ・350.1MHz 無線・警備無線は設定（登録）できません。

（例）デジタル無線の場合



※キャンセルした159.5MHz以外の159.0～159.4MHz、159.6～160MHzを受信するとキャンセルされずに警報を行います。



アドバイス

無線キャンセル登録解除方法

リーダー本体をオールリセットすると登録を解除することができます。ただし、その他の設定した内容もすべてお買い上げ時の状態になります。（⇒ P58）

登録ができない場合

「チャララン♪ 登録できません」とアナウンスされます。

GPS データを更新する

- ・本製品の GPS データ（GPS ポイントデータ）は、最新バージョンへの更新が可能です。
 - ・弊社調査箇所以外にもオービス・N システムが設置されている可能性があります。お車を運転するときは安全のため、必ず法定速度内で走行してください。
- ※ ダウンロードのサイトは、予告なく変更・中止される場合があります。

パソコンからダウンロードする

◆必要な物

- ・パソコン（対応 OS:Windows）
- ・市販の microSD カード
- ・データを書込むためのメモリーカードリーダー

①ワンクリック DL App を使用する

弊社 HP よりダウンロードできる『ワンクリック DL App』をインストールすることで、カンタンに GPS データをダウンロードし、microSD カードに書き込むことが出来ます。



② microSD カードに直接書き込む

セキュリティ等で新たにアプリケーションをインストールできない場合、弊社 HP より GPS データをダウンロードし、microSD カードにデータを直接書き込んでください。



👆 アドバイス

上記のダウンロードできる環境をお持ちでないお客様は、本製品を直接コムテック サービスセンターまでお送りください。

※お預かりでのデータ更新に関しましては **有償** となります。あらかじめご了承ください。

〒470-0206

住所 愛知県みよし市筋生町下石田 60 番

電話 0561-36-5654

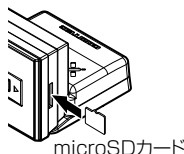
株式会社 コムテック サービスセンター データ更新係 迄

便利な機能

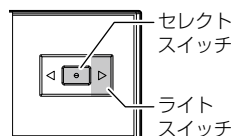
レーダー本体をアップデートする

最新の GPS データをダウンロードした microSD カードをレーダー本体に読み込ませることで、GPS データの更新ができます。

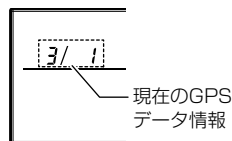
1. 本体の microSD カードスロットに、microSD カードを「カチッ」と音がするまで差し込む
・ 必ずレーダー本体の電源が OFF になっていることを確認してください。



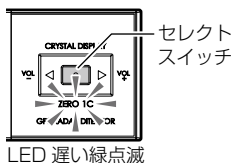
2. 【セレクトスイッチ】と【ライトスイッチ】を押しながら、USB シガープラグコードを接続 (⇒ P13) して、レーダー本体の電源を入れる



3. GPS データ更新モードで起動後、待機画面のカレンダー表示部に現在の GPS データの情報が表示される



4. 【セレクトスイッチ】を押すと、LED が遅い緑点滅を行い、SD カードアイコンが点灯する

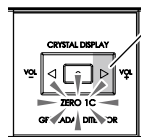


5. 再度【セレクトスイッチ】を押すと LED の点滅速度が速くなり、データ更新が開始される

・ 速度表示部に進行状況が表示されます。

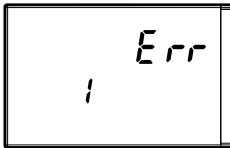
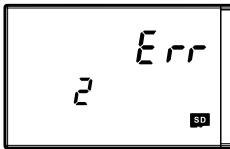
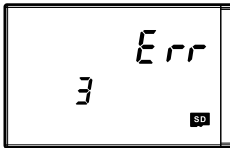


6. 更新が完了すると LED が青点灯するので、【ライトスイッチ】を押して、再起動する



ライト
スイッチ

LED 青点灯

エラー表示	エラー	対処方法
	microSD カードが挿入されていない場合に表示されます。	microSD カードの挿入を確認してください。
	microSD カード内に有効な GPS データが無い場合に表示されます。	再度、パソコンから GPS データを microSD カードにコピーしてください。
	アップデートに失敗した場合に表示されます。 正常にアップデートされるまで本製品は再起動後も GPS データ更新モードから切替りません。	再度、GPS データのアップデートを行ってください。

⚠ 注意

- ・ microSD カードを取付けたり取外す場合は、必ずレーダー本体の電源を OFF にしてください。
- ・ microSD カードを無理に取付けたり、取外したりすると、microSD カードやレーダー本体が破損することがあります。
- ・ microSD カード以外のものを挿入しないでください。microSD カードやレーダー本体が破損することがあります。
- ・ アップデート中は、microSD カードを抜いたり、電源スイッチを切ったりしないでください。microSD カードやレーダー本体が破損することがあります。
ただし、アップデートが開始されなかったり、途中で停止した場合は再起動を行い、再度アップデートを行ってください。

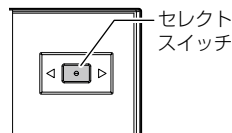
便利な機能

走行エリアを選ぶ

GPS 警報を行う道路を【オールモード】【シティーモード】【ハイウェイモード】【オートモード】から選択することができます。

設定方法

- ・待機中に【セレクトスイッチ】を**長押し**すると設定が切替わります。
- ・下記表を参照し、走行条件に合わせた走行エリアの設定を行なってください。



設定	アイコン表示	GPS 警報を行う道路
シティーモード	一般	一般道路のみ
ハイウェイモード	高速	高速道路のみ
オートモード (初期設定)	一般 高速	オールモード、シティーモード、 ハイウェイモードを自動で切替える
オールモード	一般 高速	一般道路／高速道路

※ シティーモード設定中、走行速度が 80km/h を超えたり、ハイウェイモード設定中、車が停車状態になると、「モード確認をしてください」とアナウンスします。

⚠ 注意

オートモードに設定した場合、自車の走行速度と GPS のデータを基に、「オールモード」、「シティーモード」、「ハイウェイモード」を自動的に切替えます。そのため、下記のような場合、実際の走行道路と設定が異なり、GPS 警報を行わない事があります。

- ・高速道路走行中に渋滞等により低速走行をしている場合。
- ・高速道路から速度を落とさずに一般道路に合流する場合。
- ・一般道路と高速道路が並行している場合。

ASC 機能

- ・ASC 機能とは、オート・センシティブ・コントロールの略称で、走行する速度によってレーダーの受信感度を自動的に調節する機能です。
- ・低速走行中（渋滞など）は受信感度を下げて警報を鳴りにくくし、高速走行中はレーダーの受信感度を上げて警報しやすくします。

車両状態	 信号待ち、低速走行時など	 走行中
受信感度	LOW	車速に応じて LOW ⇄ HYPER と受信感度が変化

GPS 設定 (⇒ P30)	内容	走行速度	受信感度
おまかせ 1	自車の走行速度に合わせて設定を切替える	30km/h 未満	LOW
おまかせ 2		30km/h 以上	HYPER
オールオン	受信感度は『HYPER』に固定		

※ GPS 衛星を受信できない場合は、受信感度が [HYPER] に固定されます。

LSC 機能

LSC 機能とは、ロー・スピード・キャンセルの略称で、渋滞など車が低速走行時（GPS で算出した走行速度が 30km/h 未満の時）は、警報音を自動的にカットする機能です。

LSC 機能の動作内容

走行状態	警報
停車中～ 30km/h	しない
30km/h 以上	する
衛星を受信していない時、または GPS 設定 (⇒ P30) を『オールオン』に設定している時	する

※ レーダー警報は除く（ASC 機能の設定による）

設定項目

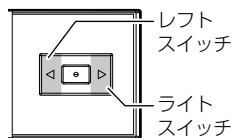
アラーム音を変更する

警報音をブザー 1 / ブザー 2 の 2 種類から選択することができます。

1. 【レフトスイッチ】【ライトスイッチ】を**同時長押し**し、アラーム設定モードに入る

※アラーム音設定モードに入ると、LED が赤点減します。

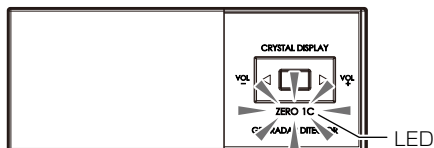
2. 【レフトスイッチ】【ライトスイッチ】を同時短押しするごとにブザー 1 / ブザー 2 が切り替わります。



設 定	内 容	速度表示部
ブザー 1 (初期設定)	警報音をブザーで鳴らします。	1 を表示
ブザー 2		2 を表示

LED 設定

- ・本体 LED の点灯パターンを設定することができます。
- ・お買い上げ時は、【速度連動】に設定されています。



【レフトスイッチ】【ライトスイッチ】を同時短押しするごとに設定内容が変更されます

設定表示	LED 表示					
	青点減	赤点灯	青点灯	緑点灯	橙点灯	OFF
待機時の LED 動作	速度連動	赤固定	青固定	緑固定	橙固定	消灯

※ 警報時は設定に関わらず、警報に応じた色で点滅します。

※ 設定を OFF にすると、待機時、警報時ともに LED は点灯しません。

※ ミュート動作中は LED の設定に関わらず、青点減します。

◇速度連動設定時の点灯色切替え速度

LED 色	加速時	減速時
緑	～ 29km/h	20km/h ～
青	30 ～ 59km/h	50 ～ 21 km/h
橙	60 ～ 99km/h	90 ～ 51 km/h
赤	100km/h ～	—

◇警報連動設定時の点灯 / 点滅色、点滅速度

警 報	LED 色	点滅速度	警 報	LED 色	点滅速度
オービス警報	赤	速い	レーダー警報	赤	速い
ユーザーポイント警報			ステルス警報		
W オービス	赤	速い	カーロケ	赤	速い
取締ポイント			350.1MHz		
白バイ警戒エリア	橙	中間	デジタル		
N システム			取締特小		
信号無視取締機ポイント			署活系		
過積載取締機ポイント			ワイド		
警察署エリア			警察活動	橙	中間
交番エリア	緑	遅い	警察ヘリテレ		
高速道路交通警察隊エリア			新救急		
事故ポイント			消防	緑	遅い
SA/PA/HO	橙	中間	消防ヘリテレ		
道の駅ポイント			高速管理車両	赤	速い
トンネルポイント			警備		
急カーブポイント			レッカー	青	点灯
駐車監視エリア			タクシー		
分岐合流ポイント	緑	遅い	パトロールエリア	青	点灯
逆走お知らせポイント			回避		
消防署エリア	緑	遅い	回避	青	点灯
踏切ポイント			取締ポイント回避		
県境ポイント			カーロケ無線回避		
スクールエリア	緑	遅い			

設定項目

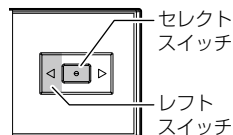
GPS 設定

GPS 警報の設定を 3 つのモードから簡単に切替える事ができます。

設定方法

1. 待機中に【レフトスイッチ】【セレクトスイッチ】を**同時長押し**し、GPS 設定モードに入る

※ GPS 設定モードに入ると、LED が青点滅します。



2. 【レフトスイッチ】【セレクトスイッチ】を同
時短押しするごとに設定内容が変更される

3. 速度表示部に設定内容が表示され、アナウンスで設定をお知らせします。

設 定	アナウンス内容	速度表示部
おまかせ 1	おまかせモードです	1 を表示
おまかせ 2		2 を表示
オールオン (初期設定)	オールオンモードです	3 を表示

4. 【レフトスイッチ】を押して設定を終了します。

※何もスイッチを押さないで一定時間経過すると、自動的に設定は終了します。(その際、変更した設定は保存されます)

設定内容一覧

機能	おまかせ 1	おまかせ 2	オールオン（初期設定）	
W（ダブル）オービス	OFF	OFF	距離：500m	
取締ポイント／白バイ警戒エリア	ON	ON	ON	
駐車監視エリア	OFF			
信号無視取締機ポイント／ 過積載取締機ポイント	ON			
警察署エリア／交番エリア／ 高速道路交通警察隊エリア／ 事故ポイント／N システム	OFF			
SA/PA/HO /道の駅ポイント 急カーブポイント／ トンネルポイント／ 県境ポイント／分岐合流ポイント 逆走お知らせポイント／ 消防署エリア／スクールエリア 踏切ポイント				
LSC 機能		ALL-ON		ALL-ON
ASC 機能	AUTO	AUTO		HYPER

GPS 警報表示について

本製品は GPS 機能を利用し、登録された警報ポイントに近づくと、液晶表示とアナウンスでお知らせします。

◇アイコン表示部



設定項目

《オービス警報・ユーザー登録ポイント警報の音声アナウンス内容》

オービス種類	音声アナウンス ※（ ）内の言葉はオービス迄の直線距離、高速・一般道等によって変わります。
ループコイル	約（※ 1）先（※ 2）ループコイル があります。 時速は約（※ 3）キロ。（※ 4）
LH システム	約（※ 1）先（※ 2）LH システム があります。 時速は約（※ 3）キロ。（※ 4）
H システム	約（※ 1）先（※ 2）H システム があります。 時速は約（※ 3）キロ。（※ 4）
レーダー	約（※ 1）先（※ 2）レーダー があります。 時速は約（※ 3）キロ。（※ 4）
ユーザー登録 ポイント	約（※ 1）先（※ 2）上 ユーザーポイント があります。時速は約（※ 3）キロ。 （※ 4）

- ※ 1 2 キロ、1 キロ、500m いずれかをアナウンスします。2 キロは高速道路のみアナウンスします。
- ※ 2 『高速道 / 一般道』のいずれかをアナウンスします。また 500m の警報の場合、カメラ位置の方向（正面・左側・右側）をアナウンスします。
- ※ 3 アナウンスを始めた時の速度を 10km/h 単位（四捨五入）でアナウンスします。190km/h 以上は「190 キロ以上です」とアナウンスします。
- ※ 4 2 キロ、1 キロの警報の場合、制限速度または到達時間をアナウンスします。
 - ・制限速度データがあり、走行速度が制限速度を超えている場合、『制限速度は〇〇キロです』
 - ・制限速度データがない場合、または制限速度データがあり、走行速度が制限速度以内の場合、『到達時間は〇〇秒以内です』

⚠ 注意

- ・※ 3 のアナウンスの速度はアナウンスした時の速度です。
- ・※ 4 の到達時間はアナウンス開始時の速度と距離で算出されており、実際の到達時間とは異なる場合があります。あくまで目安とお考えください。

《トンネル出口警報・トンネル内オービス警報の音声アナウンス内容》

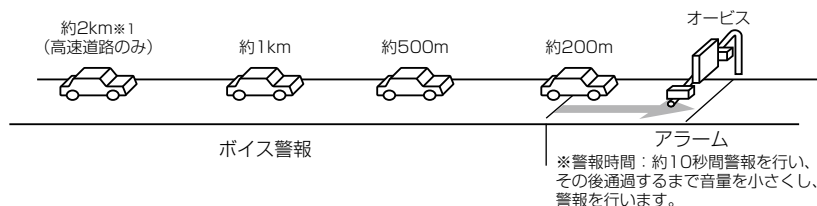
オービス種類	音声アナウンス ※（ ）内の言葉はオービス迄の直線距離、高速・一般道等によって変わります。
トンネル出口 警報	(※ 1) トンネル出口 (※ 2) があります。時速は約 (※ 3) キロ。(※ 4)
トンネル内 オービス警報	(※ 1) トンネル内 (※ 2) があります。時速は約 (※ 3) キロ。(※ 4)

- ※ 1 『高速道 / 一般道』のいずれかをアナウンスします。
- ※ 2 取締機の種類をアナウンスします。
- ※ 3 アナウンスを始めた時の速度を 10km/h 単位（四捨五入）でアナウンスします。190km/h 以上は「190 キロ以上です」とアナウンスします。
- ※ 4 制限速度をアナウンスします。
 - ・制限速度データがある場合、『制限速度は〇〇キロです』
 - ・制限速度データがない場合、または制限速度データがあり、走行速度が制限速度以内の場合、『時速は約〇〇キロ』

オービスポイントに接近した場合、下記のように警報を行います。

※ 対向車線上のオービスへの警報は行いません。

◇警報を行う距離



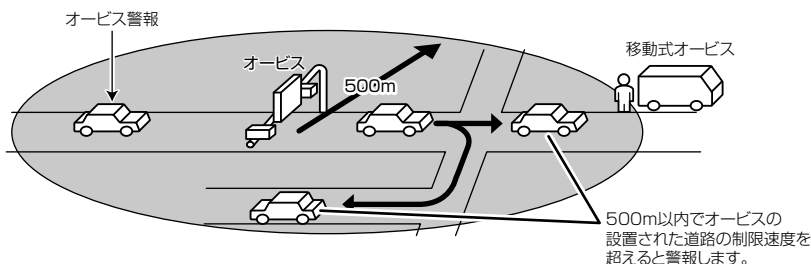
- ※ 1 警報を行う距離は、対象とするオービスからの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさ等によっては実際の走行距離と異なる場合があります。また、近くのパallelする道路等を走行中の時も警報を行う場合があります。

設定項目



ダブルオービス警報

- ・ダブルオービスとは、固定式オービスの先に移動式オービスを設置することで、固定式オービス通過後に速度を上げる車両をねらい撃ちする二重オービスの呼称です。
- ・GPS 設定がオールオンの場合、一般道路上のオービスポイントを通過後、500m 以内で、オービスの設置された道路の制限速度以上で走行すると、警報アナウンスとディスプレイ表示で警告します。



アナウンス

効果音、この先ダブルオービスにご注意ください。

※ GPS 設定 (⇒ P30) をオールオンに設定した場合のみ警報します。

※ ロードセレクト (⇒ P26) がオールモード、シティーモードの時のみ有効です。

⚠ 注意

- ・設定した距離の範囲内で信号などにより停止 (5km/h 以下) した場合、再度オービスの設置された道路の制限速度を超えると 3 回まで警報します。
- ・オービス警報キャンセルポイントに設定されているオービスポイントでは、ダブルオービス警報もキャンセルされます。
- ・オービス通過後、設定範囲内であれば車両の進行方向にかかわらず、オービスの設置された道路の制限速度を超えればダブルオービスの警報を行います。



N システム /NH システム 警報

N システム /NH システムポイントに接近した場合、下記のように警報を行います。

※ 対向車線上の N システム / NH システムへの警報は行いません。

※ GPS 電波が受信できていない状態では、GPS 警報ができません。



アナウンス

効果音、この先 (高速道 一般道) N システムがあります。

※ 本製品は、NH システムを N システムとして警報を行います。

⚠ 注意

警報を行う距離は、対象とする N システム / NH システムからの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさ等によっては実際の走行距離と異なる場合があります。



取締ポイント警報

本製品には速度取締りが頻繁に行われているポイントや、過去に検問や取締りの事例があるポイントがあらかじめ登録してあります。

登録された取締ポイントに接近すると、約 200m ～ 1km の間で注意をお知らせし、取締ポイントから離れた時に回避をお知らせします。

- ・ [重点取締り] 取締ポイントが 2 つ重なっている場合に重点取締ポイントとして警報
- ・ [最重点取締り] 取締ポイントが 3 つ以上重なっている場合に最重点取締ポイントとして警報

アドバイス

取締ポイントの回避警報は他の警報と重なった場合、他の警報が優先され、回避警報を行わない場合があります。

取締種類	アナウンス
取締ポイント	効果音、この先（ 高速道 一般道 ）取締ポイントがあります。 取締りにご注意ください。
重点取締ポイント	効果音、この先 一般道重点取締ポイントがあります。 重点取締りにご注意ください。
最重点取締ポイント	効果音、この先 一般道最重点取締ポイントがあります。 最重点取締りにご注意ください。
回避	効果音、取締ポイントを回避しました。 または 効果音、重点取締ポイントを回避しました。 または 効果音、最重点取締ポイントを回避しました。

信号無視取締機ポイント警報



- ・信号無視監視機が設置されている交差点で、信号を無視して走行した違反車両の様子が撮影・記録されます。
- ・本機に登録されている信号無視取締機ポイントに接近すると約 200m ～ 600m の間で注意をお知らせします。

アナウンス

効果音、この先 一般道 信号無視取締機にご注意ください。

※ ロードセレクト (⇒ P26) がオールモード、シティーモードの時のみ有効です。

過積載取締機ポイント警報



- ・過積載取締機が設置されている路線で、車両の積載量を無視して走行した違反車両の様子が撮影・記録されます。
- ・本機に登録されている過積載取締機ポイントに接近すると約 200m ～ 600m の間で注意をお知らせします。

アナウンス

効果音、この先 (高速道 一般道) 過積載取締機にご注意ください。

白バイ警戒エリア警報



本機に登録されている白バイ警戒エリアに接近 (約 300m) するとお知らせします。

アナウンス

効果音、この付近 白バイ警戒エリアです。

効果音、この付近 白バイ重点警戒エリアです。
取締りにご注意ください。

アドバイス

白バイ重点警戒エリアは白バイ警戒エリア警報を行ったあと、一定の無線を受信した際に警報を行います。

設定項目

警察署エリア警報



本機に登録されている警察署付近に接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス

効果音、この付近 警察署エリアです。

※ ロードセレクト（⇒ P26）がオールモード、シティーモードの時のみ有効です。

交番エリア警報



本機に登録されている政令指定都市の交番付近に接近（約 200m）するとお知らせします。

アナウンス

効果音、この付近 交番エリアです。
取締りにご注意ください。

※ ロードセレクト（⇒ P26）がオールモード、シティーモードの時のみ有効です。

高速道路交通警察隊エリア警報



本機に登録されている政令指定都市の高速道路交通警察隊エリアに接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス

効果音、この付近 高速道路交通警察隊エリアです。
取締りにご注意ください。

事故ポイント警報



全国の事故多発ポイントを予め本機に登録しており、事故多発ポイントに接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス

効果音、この先（^{高速道}_{一般道}）事故多発ポイントがあります。

SA/PA/HO 警報



全国的高速道路にあるサービスエリア、パーキングエリアやハイウェイオアシスの位置情報を予め本機に登録しており、サービスエリア又はパーキングエリアに接近すると、2km 手前でお知らせします。

状況	アナウンス
パーキングエリア	効果音、この先 高速道 パーキングエリアがあります。
サービスエリア	効果音、この先 高速道 サービスエリアがあります。
ハイウェイオアシス	効果音、この先 高速道 ハイウェイオアシスがあります。

※ ロードセレクト (⇒ P26) がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。

道の駅ポイント警報



本機に登録されている道の駅付近に接近 (約 1 km) すると、お知らせします。

アナウンス
効果音、この先、一般道 道の駅があります。

※ ロードセレクト (⇒ P26) がオールモード、シティーモードの時のみ有効です。

踏切ポイント警報



本機に登録されている踏切付近に接近 (約 200m) するとお知らせします。

アナウンス
効果音、この付近 ご注意ください。

※ ロードセレクト (⇒ P26) がオールモード、シティーモードの時のみ有効です。

設定項目

急カーブポイント警報



本機に登録されている急カーブ付近に接近（約 300m）すると、お知らせします。

アナウンス

効果音、この先、高速道（※ 1）急カーブがあります。

- ※ ロードセレクト（⇒ P26）がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。
※ 1 カーブの状況に応じて、右、左、連続のいずれかをアナウンスします。

⚠ 注意

弊社調査による高速道路上の急カーブと思われる位置を登録して警報を行いますが、下記点にご注意ください。

- 全ての急カーブポイントで警報するわけではありません。
- 高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。



トンネルポイント警報

本機に登録されているトンネル付近に接近（約 1km）すると、お知らせします。

アナウンス

効果音、この先、高速道（※ 1）トンネルがあります。

- ※ ロードセレクト（⇒ P26）がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。
※ 1 トンネルの状況に応じて、長い、連続する のいずれかをアナウンスします。

⚠ 注意

弊社調査による高速道路上のトンネル位置を登録して警報を行いますが、下記点にご注意ください。

- 全てのトンネルポイントで警報するわけではありません。
- 高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。



県境ポイント警報

県境付近に接近（約 1 km）すると、都道府県をお知らせします。

アナウンス

効果音、この先、（※ 1）。

※ 1 都道府県をアナウンスします。

⚠ 注意

弊社調査による県境位置を登録して警報を行いますが、下記点にご注意ください。

- ・山間部やトンネル内又は出口付近等の GPS の受信が不安定な場所では警報しない場合があります。
- ・全ての県境ポイントで警報するわけではありません。



分岐合流ポイント警報

本機に登録されている分岐合流付近に接近（約 500m）すると、お知らせします。

アナウンス

効果音、この先、高速道 分岐（または合流）があります。

※ 分岐と合流のアナウンスは、それぞれ異なります。

※ ロードセレクト（⇒ P26）がハイウェイモード、オールモードの時のみ有効です。

⚠ 注意

弊社調査による高速道路上の分岐合流ポイントを登録して警報を行いますが、下記点にご注意ください。

- ・全ての分岐合流ポイントで警報するわけではありません。また、SA/PA/HO インターチェンジからの分岐合流も警報を行いません。
- ・高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。
- ・ジャンクションの形状によっては一つの分岐・合流ポイントで複数回警報することがあります。

設定項目



駐車監視エリア警報

各警察より発表がありました「最重点地域」、「重点地域」を基に弊社調査による監視（駐禁）エリアが登録されています。監視エリア付近に接近すると、お知らせします。

アナウンス

効果音、駐車監視エリアです。

※ ロードセレクト（⇒ P26）がオールモード、シティーモードの時のみ有効です。

⚠ 注意

弊社調査による監視エリアを登録して警報を行います。下記点にご注意ください。

- ・全ての監視エリアで警報するわけではありません。
- ・実際の監視エリアと異なるエリアで警報することがあります。



スクールエリア警報

本機に登録されている小学校付近を 7:00 ～ 9:00、12:00 ～ 18:00 に接近（約 200m）するとお知らせします。

※ 土曜日、日曜日は警報は行いません。

アナウンス

効果音、この付近 スクールエリアです。
安全運転を心がけましょう。

※ ロードセレクト（⇒ P26）がオールモード、シティーモードの時のみ有効です。

逆走お知らせ警報



全国的高速道路にあるサービスエリア、パーキングエリアやハイウェイオアシスで停車するとお知らせします。その後発進し、速度が 20km/h 以上になった場合、再度お知らせします。

アナウンス

効果音、この付近 逆走お知らせエリアです。
出口の方向にご注意ください。

⚠ 注意

逆走お知らせ警報とオービス警報が重なる場所ではオービス警報が優先されるため、逆走お知らせ警報を行いません。ご注意ください。

※ ロードセレクト (⇒ P26) の設定および LSC の設定 (⇒ P27) に関わらず、警報を行います。

消防署エリア警報



本機に登録されている消防署付近に接近 (約 300m) するとお知らせします。

アナウンス

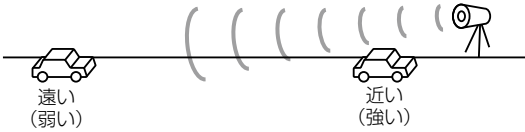
効果音、この付近 消防署エリアです。
緊急車両にご注意ください。

※ ロードセレクト (⇒ P26) がオールモード、シティーモードの時のみ有効です。

設定項目

レーダー警報表示について

レーダー式取締り機（⇒ P55）に接近した場合、下記のように警報を行います。

レーダー式取締り機迄の 距離（電波の強さ）				
レーダー警報表示			◇アイコン表示部 高速  一般  レーダー  無線  レーダー波受信時に点灯	
アラーム音	受信感度	LOW	アラーム音が鳴らない ※警報表示は行います。	
		HYPER	アラーム音が鳴る	
ステルス波 受信 (⇒ P55)	レーダー警報 ランプ表示		早い赤点滅	
	アラーム音		ピコッピコッピコッ・・・ アラーム音が鳴ります。	

※ レーダー警報中でも GPS 警報、無線警報を優先します。

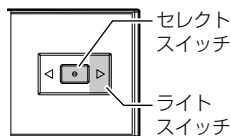
無線設定

無線警報の設定を 4 つのモードから簡単に切替える事ができます。

設定方法

1. 待機中に【セレクトスイッチ】【ライトスイッチ】を**同時長押し**し、無線設定モードに入る

※無線設定モードに入ると、LED が緑点滅します。



2. 【セレクトスイッチ】【ライトスイッチ】を同時短押しすると設定内容が変更される

3. 速度表示部に設定内容が表示され、アナウンスで設定をお知らせします。

設 定	アナウンス内容	速度表示部
オールオフ	—	0 を表示
おまかせ 1	おまかせモードです	1 を表示
おまかせ 2		2 を表示
オールオン (初期設定)	オールオンモードです	3 を表示

4. 【レフトスイッチ】を押して設定を終了します。

※何もスイッチを押さないで一定時間経過すると、自動的に設定は終了します。(その際、変更した設定は保存されます)

設定項目

設定内容一覧

機能	オールオフ	おまかせ 1	おまかせ 2	オールオン (初期設定)
カーロケ	OFF	ON	ON	ON
350.1MHz				
デジタル				
取締特小				
署活系				
ワイド		OFF	OFF	
警察 / 消防ヘリテレ				
レッカー				
新救急				
消防				
高速管理車両				
警察活動				
警備				
タクシー				
パトロールエリア設定				

無線警報表示について

各種無線を受信すると、液晶表示とアナウンスでお知らせします。

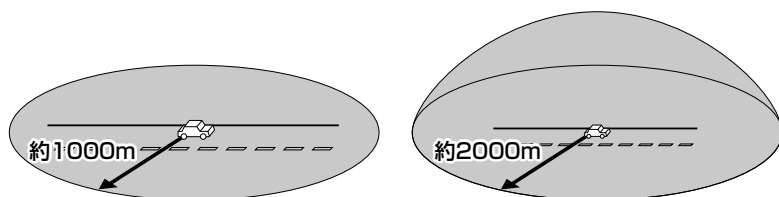
◇アイコン表示部



無線受信時に点灯

受信範囲

下図の受信感度（距離）は直線見通し距離で、間に障害物が無い状態での受信距離目安です。



カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、
取締特小、レッカー、新救急、消防、高速管理車両、
警察活動、警備、タクシーの各無線

警察/消防ヘリテレ無線

⚠ 注意

- ・放送局や無線中継局の近くを通過する時、強い電波の影響により誤動作する場合があります。また、VHF 帯の放送局の近くを通過する場合は、デジタル無線の受信をすることがあります。
- ・使用状況、走行状態、製品取付け位置、周囲の環境（電波状況）によって受信感度（距離）が短くなる場合があります。

設定項目

カーロケ無線警報

カー・ロケター・システムとは、「無線自動車動態表示システム」といい、緊急車両に装備された GPS 受信機より算出した位置データを無線で定期的（間欠）に各本部の車両管理センターへ送信するシステムです。本製品は緊急車両からの電波を受信し、音声で警報を行い緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。



現在、緊急車両の多くはGPSより算出した位置データを無線で定期的（間欠）に各本部に送信するカー・ロケター・システムを装備しています。

本製品は、各本部へ送信している電波を受信し、音声で警報を行い、緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

⚠ 注意

- ・カー・ロケター・システムは間欠で送信される為、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。
- ・緊急車両は走行状態（緊急走行、通常走行、駐停車）によって、電波の送信時間が変化する為、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。
- ・緊急車両がエンジン停止時は電波の送信を行わない為、本製品での受信はできません。
- ・送信電波の中継局、受信本部近辺では緊急車両の接近に関わらず受信することがあります。

- ※ カーロケターシステム搭載車であっても、使用されていない場合カーロケター無線を受信できません。
- ※ カーロケターシステムは全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在受信できる地域であっても、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますのであらかじめご了承ください。また、新システムが導入された地域ではカーロケター無線の警報ができません。

◇カーロケ無線受信状況 アナウンス
◇遠いカーロケ無線を受信した場合 効果音～カーロケ無線を受信しました。
◇近いカーロケ無線を受信した場合 効果音～カーロケ無線を受信しました。 緊急車両にご注意ください。
◇接近するカーロケ無線を受信した場合 効果音～カーロケ無線を受信しました。 接近する緊急車両にご注意ください。
◇カーロケ無線を受信し、その後カーロケ無線を回避した場合 効果音～カーロケ無線を回避しました。

350.1MHz 警報（取締り用連絡無線）

取締り用連絡無線で使用する周波数帯で、速度違反取締りやシートベルト装着義務違反取締り等で使用することがあります。また、通話内容をコード化したデジタル無線方式を使用するケースもあり、音声受信ができない場合もあります。



アナウンス
効果音～通話音声（デジタル信号はノイズ）～ 350.1 無線を受信しました。

設定項目

デジタル無線警報

- ・各警察本部と移動局（緊急車両等）とが行う無線交信で、159MHz 帯～160MHz 帯の電波を受信します。通話内容がコード化（デジタル化）されており通話内容を聞くことはできませんが、音声と表示で警報を行い、付近を走行する緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。
- ・デジタル無線受信電波の状況によって、遠近識別警報を行います。

状況	アナウンス
遠い	効果音～デジタル無線を受信しました。
近い	効果音～デジタル無線を受信しました。 緊急車両にご注意ください。
接近	効果音～デジタル無線を受信しました。 接近する緊急車両にご注意ください。

署活系無線警報

パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使用している無線交信の電波を受信します。

アナウンス
効果音～署活系無線を受信しました。

ワイド無線警報

Wireless Integrated Digital Equipment の略称。336 ～ 338MHz 帯を使用している警察専用の自動車携帯電話システムのこと。移動警察電話（移動警電）ともいいます。

状況	アナウンス
遠い	効果音～ワイド無線を受信しました。
近い	効果音～ワイド無線を受信しました。 緊急車両にご注意ください。
接近	効果音～ワイド無線を受信しました。 接近する緊急車両にご注意ください。

取締特小無線警報

シートベルト、一旦停止など取締現場では普通 350.1MHz 無線を使用しますが、取締の連絡用などに特定小電力無線を使用する場合があります。

アナウンス
効果音～通話音声～ 取締特小無線を受信しました。

警察活動無線警報

機動隊が主に災害や行事に使用する無線です。

アナウンス
効果音～警察活動無線を受信しました。

設定項目

パトロールエリア警報 (パトロールエリア info)

検問などで使用されている一定の無線電波を受信するエリアです。

アナウンス

効果音～パトロールエリアです。ご注意ください。

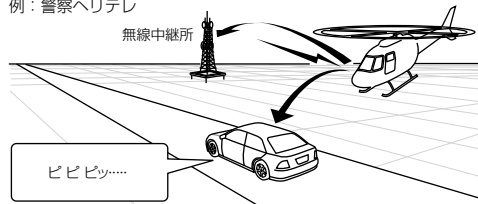
👉 アドバイス

- ・受信感度の調整はありません。カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、取締特小、警察ヘリテレ、警察活動無線の内 2 つ以上の設定が ON になっていないと、パトロールエリア警報は行いません。
- ・必ず検問、取締等を行っているとは限りません。

警察／消防ヘリテレ無線警報

「ヘリコプター画像伝送システム連絡用無線」の略称で警察ヘリテレは警察所属のヘリコプターから全国にある無線中継所に送信される無線通信のことです。主に事件・事故等の情報収集、取締り等の時に上空と地上とで連絡を取るために使われています。ヘリコプターから無線中継所間の電波を受信し、事件・事故等の情報を事前に知ることができ安全な回避を促します。また消防ヘリテレは火事等の事故処理や連絡用として使われています。

例：警察ヘリテレ



※一部地域又は、一部ヘリコプターにはヘリテレ無線が装備されていない為、本製品では受信できないことがあります。
※ヘリテレ無線は、ヘリコプターが電波を送信した時のみ受信することができます。
※送信電波の中継所周辺ではヘリコプターの接近に関わらず受信することがあります。(警察ヘリテレのみ)

受信種類	アナウンス
警察ヘリテレ	効果音～通話音声～ 警察ヘリテレ無線を受信しました。
消防ヘリテレ	効果音～通話音声～ 消防ヘリテレ無線を受信しました。

新救急無線警報

救急車と消防本部の連絡用無線として使用しています。主に首都圏で使用されています。

アナウンス

効果音～通話音声～
新救急無線を受信しました。

消防無線警報

消防車が消火活動中や移動時に連絡用として使用している無線です。

アナウンス

効果音～通話音声～
消防無線を受信しました。

レッカー無線警報

東名、名神の一部高速道路や一部地域でレッカー業者が駐車違反や事故処理などの時に業務用無線を使用しています。

※ 一般の業務用無線と同じ周波数の為、地域によっては一般業務無線を受信することもあります。

アナウンス

効果音～通話音声～
レッカー無線を受信しました。

設定項目

高速管理車両無線警報

東日本、中日本、西日本の高速道路株式会社が使用している業務連絡無線です。おもに渋滞や工事、事故情報等でパトロール車両と本部との連絡に使用します。

アナウンス

効果音～通話音声～
高速管理車両無線を受信しました。

警備無線警報

・各地の警備会社が使用する無線です。

アナウンス

効果音～通話音声～
警備無線を受信しました。

タクシー無線警報

・各地のタクシー会社が使用する無線です。

アナウンス

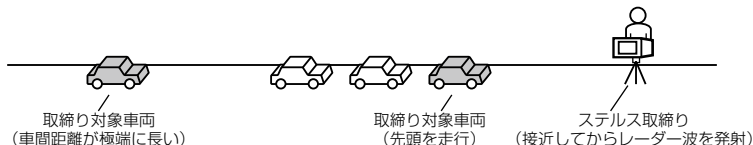
効果音～通話音声～
タクシー無線を受信しました。

取締りの種類と方法

レーダー式の取締り

●ステルス式取締り方法（有人式取締り）

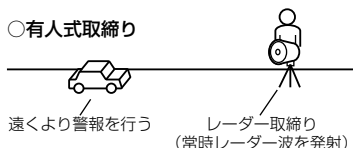
取締り対象の車が取締り機の近くに接近してから、レーダー波を発射する狙い撃ち的な取締り方式です。走行車両の先頭や、前方走行車との車間距離が極端に長い場合等に測定されるケースが多く、100m以下の至近距離でレーダー波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わないことがありますので、先頭を走行するときは、注意が必要です。



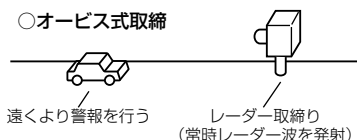
●レーダー式取締り方法（有人式取締り／オービス式取締り）

レーダー波を常時発射し、通過する車両の速度を測定します。また、オービス式の場合は、違反車両を自動的に写真撮影します。多くの取締り現場に採用しておりレーダー波も500m以上の距離から受信することができます。また、オービス式であれば、本製品に位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。

○有人式取締り



○オービス式取締り



●新Hシステム式取締り方法（オービス式取締り）

レーダー波を間欠発射し、通過する車両の速度を測定し違反車両の写真撮影を自動で行い、警察本部の大型コンピュータへ専用回線で転送されます。レーダー波も500m前後で受信します。また、本製品に位置データが登録してある場合、最長2kmより警報を行います。



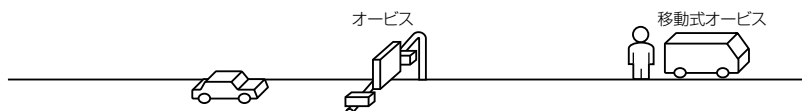
● 移動オービス式／パトカー車載式取締り方法

ワンボックス車の後部にレーダー式オービスを搭載し、違反車両を取締る移動オービスとパトカーの赤色灯を改良して取締り機を搭載したパトカー車載式があります。どちらも出力の強いレーダー波を発射しますので、500m以上の距離から受信することができます。

※ 移動オービスで、本製品で探知できない光電管式もあります。

● ダブルオービス式取締り方法

固定式オービスの先に移動式オービスを設置することで、固定式オービス通過後に速度を上げる車両をねらい撃ちする二重オービスの呼称です。



レーダー式以外の取締り

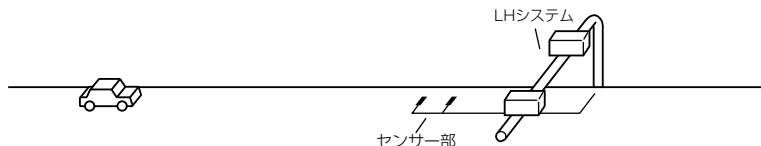
● ループコイル式取締り方法（オービス式取締り）

測定区間の始めと終わりに磁気スイッチ（金属センサー）を路面下、中央分離帯等に埋め込み、通過時間から速度を算出し、違反車両の写真を撮影します。本製品に位置データが登録してある場合、最長 2km より警報を行います。



● LH システム式取締り方法（オービス式取締り）

速度計測部がループコイル方式で、違反車両の写真撮影が H システム方式の取締り機です。従来のレーダー探知機では警報ができませんでした。本製品では位置データが登録してある場合、最長 2km より警報を行います。



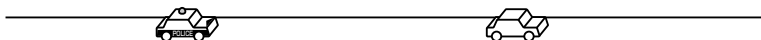
● 光電管式取締り方法（有人式取締り）

2 点間に置かれたセンサーの通過時間から速度を算出し、違反車両を特定します。



● 追尾式取締り方法

パトカー・覆面パトカー・白バイ等が、一定の車両間隔を保った状態で後方を追尾し、走行速度を測定し記録します。

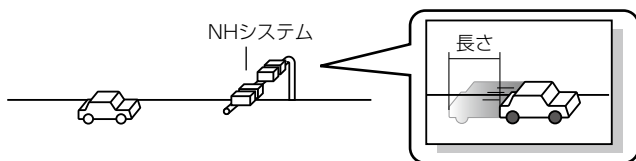


👉 アドバイス

光電管式取締り方法（有人式取締り）および追尾式取締り方法はレーダー波を発射しないタイプの取締り方法のため本製品では探知できません。（光電管式取締り方法に関しては本製品の取締ポイントに登録されている地点（⇒ P36）であればGPS 警報を行います）

● NH システム式取締り方法

通過車両を一定のシャッタースピードで撮影し、写真画像の残像をコンピュータで解析し残像の度合いによって走行速度を割出すシステムです。現在は車両識別用監視カメラとして稼動していますが、将来的には取締りに使用される可能性があります。



初期状態に戻す（オールリセット）

すべてのデータを初期化（リセット）し、お買い上げ時の状態に戻します。

※ 更新した GPS データは初期化されません。

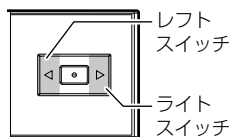
警告

- ・ 消去したデータの復元はできません。
- ・ お買い上げ時にあらかじめ登録してあるデータは消去できません。
- ・ ディスプレイモード中はオールリセットできません。

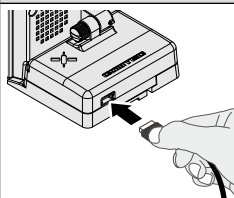
リセット方法

USB シガーコードを抜いた状態（電源 OFF の状態）で、レーダー本体の【レフトスイッチ】と【ライトスイッチ】を押しながら、USB シガープラグコードを接続してください。

① 【レフトスイッチ】と【ライトスイッチ】を押しながら



② USB シガープラグコードを接続する

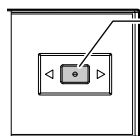


③ 「オールリセットしました」とアナウンスすればリセット完了です

ディスプレイモード（販売店向け機能）

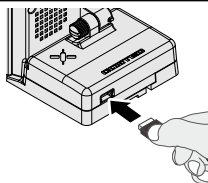
レーダー本体の一連の動きをデモンストレーションします。本製品を店頭ディスプレイとして使用する場合に、設定してください。

① 【セレクトスイッチ】を 押しながら



セレクト
スイッチ

② USB シガー プラグ コードを接続する



③ 「ディスプレイモード開
始しました」とアナウン
スすればディスプレイ
モードが始まります

- 再度【セレクトスイッチ】を押しながら USB シガープラグコードを接続すると、ディスプレイモードは終了します。

故障かな？と思ったら

製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症 状	ここをチェックしてください。	参照ページ
電源が入らない	●シガープラグコードが抜けかかっていませんか？ ●車両シガーソケットを分岐していませんか？	11,13 ページ 4 ページ
エラー表示が消えない	●データ更新をした後ではないですか？データ更新が正常に終了していないと、電源が入らないことがあります。再度データ更新を行ってください。	23～25 ページ
GPS 衛星を受信しない	●フロントガラスが断熱ガラス等ではありませんか？ ●レーダー本体は正しく取付けられていますか？ ●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物がありますか？	4 ページ 9 ページ 9 ページ
警報をしない	●音量は正しく設定してありますか？ ●走行エリアの設定は正しく設定してありますか？ ●LSC 機能が作動していませんか？	16 ページ 26 ページ 27 ページ
GPS 警報をしない場合	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物がありますか？ ●反対（対向）車線上のオービスではありませんか？ ●オービス・N システム以外のカメラではありませんか？ ●GPS 設定で OFF になっている警報ではありませんか？ ●新たに設置されたオービス・N システムではありませんか？ ●誤って警報キャンセルを設定していませんか？ ●走行エリアの設定は正しく設定してありますか？	9 ページ 33 ページ 32,35 ページ 30 ページ 23 ページ 21 ページ 26 ページ
レーダー警報をしない場合	●レーダー式以外の取組みではありませんか？ ●誤ってレーダーキャンセルを設定していませんか？ ●レーダー受信感度は適正ですか？	56,57 ページ 19 ページ 27 ページ
無線警報しない場合	●無線設定で OFF になっている警報ではありませんか？	45 ページ
LSC 機能が働かない	●GPS 設定がオールオンになっていませんか？	30,31 ページ
ASC 機能が働かない	●GPS 設定がオールオンになっていませんか？	30,31 ページ
ユーザーポイントの登録ができない	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物がありますか？ ●ユーザーポイントを 100 件を超えて登録しようとしていますか？	9 ページ 17 ページ
レーダーキャンセルポイントの登録ができない	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物がありますか？ ●レーダーキャンセルポイントを 50 件を超えて登録しようとしていますか？	9 ページ 19 ページ
警報キャンセルポイントが登録できない	●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物がありますか？ ●警報キャンセルポイントを 30 件を超えて登録しようとしていますか？	9 ページ 21 ページ

製品仕様

レーダー本体

電源電圧	DC5V 専用	受信周波数
最小消費電流	100mA 以下	・ GPS (1575.42MHz)
最大消費電流	300mA 以下	・ Xバンド (10.525GHz)
受信方式	パラレル 12ch ダブルスーパーヘテロダイン	・ Kバンド (24.200GHz)
測位更新時間	最短 0.5 秒	・ 取締り用連絡無線 (350.1MHz 帯)
検波方式	FM トラッキングタイムカウント方式	・ カー・ロケーター・システム (407MHz 帯)
動作温度範囲	-10℃～60℃	・ デジタル無線 (159MHz 帯～160MHz 帯)
本体サイズ	112 (W) × 45 (H) × 60.3 (D) ／mm 突起部除く	・ 署活系無線 (347MHz 帯、361MHz 帯)
液晶ディスプレイ表示面積	63 (W) × 37 (H) ／mm	・ ワイド無線 (336MHz 帯～338MHz 帯)
重量	2.8 インチ TN 102g	・ 警察ヘリテレ無線 (340MHz 帯～372MHz 帯)
		・ 消防ヘリテレ無線 (382MHz 帯～383MHz 帯)
		・ 取締り特小無線 (422MHz 帯)
		・ レッカー無線 (154MHz 帯、 465MHz 帯～468MHz 帯)
		・ 新救急無線 (371MHz 帯)
		・ 消防無線 (150MHz 帯、466MHz 帯)
		・ 高速管理車両無線 (383MHz 帯)
		・ 警察活動無線 (162MHz 帯)
		・ 警備無線 (468MHz 帯)
		・ タクシー無線 (458MHz 帯～459MHz 帯、 467MHz 帯)

※ 本製品はおもに取締りに使用されている周波数を中心に受信します。そのため、記載されている周波数帯であっても受信できない周波数があります。

さくいん

1/A	
350.1MHz 警報	49
ASC 機能	27
GPS	5
GPS データを更新	23 ~ 25
LED 設定	28
LSC 機能	27
N システム /NH システム 警報	35
SA/PA/HO 警報	39
あ	
アラーム機能	28
オートディママー機能	16
オートボリュームダウン機能	16
オービス警報	32
オールリセット	58
音量調整	16
か	
カーロケ無線警報	48 ~ 49
各部の名称	7 ~ 8
過積載取締機ポイント警報	37
逆走お知らせ警報	43
急カーブポイント警報	40
警察活動無線警報	51
警察署エリア警報	38
警察ヘリテレ	52
警備無線警報	54
警報キャンセルポイント登録 / 解除	21
県境ポイント警報	41
高速管理車両無線警報	54
高速道路交通警察隊エリア	38
交番エリア警報	38
故障かな？と思ったら	60
梱包内容	7
さ	
事故ポイント警報	38
準天頂衛星「みちびき」	5
消防署エリア警報	43
消防ヘリテレ	52
消防無線警報	53
署活系無線警報	50
白バイ警戒エリア警報	37
新救急無線警報	53
信号無視取締機ポイント警報	37
スクールエリア警報	42
ステルス式取締り方法	55
ステルス波受信	44
製品仕様	61
走行エリア	26
た	
タクシー無線警報	54
ダブルオービス警報	34
駐車監視エリア警報	42
ディスプレイ表示	15
ディスプレイモード	59
データ更新	23 ~ 25
デジタル無線警報	50
テスト機能	16
取締特小無線警報	51
取締ポイント警報	36
取締り用連絡無線	49
取付け	9 ~ 13
トンネルポイント警報	40
は	
バスメモリ	22
パトロールエリア警報	52
踏切ポイント警報	39
分岐合流ポイント警報	41
保証規定	63
保証書	裏面
ま	
道の駅ポイント警報	39
ミュート	18
無線キャンセル登録 / 解除	22
や	
ユーザー登録ポイント警報	32
ユーザーポイント登録 / 解除	17
ら	
レーダーキャンセルポイント登録 / 解除	19
レーダー警報	44
レッカー無線警報	53
わ	
ワイド無線警報	51